

## ＼区民の命と健康を守る公衆衛生の拠点／ 豊島区保健所が本日 5 月 7 日にオープン！ ～健康づくり支援拠点「わたしメンテラボ」も新たに開設～



豊島区は、本日 5 月 7 日(木)に、池袋保健所を南池袋二丁目 C 地区北街区の再開発ビル(ミラゾ池袋北棟)に移転し、名称を「豊島区保健所」としてオープンしました。

新保健所では、「楽しめる健康づくり」や「効果的な情報発信」、「若年女性への対策」など新たな取り組みを実施。保健所専門機能の強化や健康づくり支援の拡充などを図り、区民の命と健康を守る公衆衛生の拠点として、より充実した施設を目指します。

保健所の玄関口となる 2 階には、区民が来所する総合窓口や健診受付、各種診察室、休日診療所を集約し、利便性の向上を図るほか、3 階には各種許認可手続窓口を設置し、災害時には医療対策本部として機能する会議室も整備しました。

また、2 階フロアの一角には、区民が健康に関する「気づき」を得て、「予防」に向けた行動変容を促すことを目的とした健康づくり支援拠点「わたしメンテラボ」を新たに開設。研究室(ラボ)をイメージした空間には、〈健康測定コーナー〉〈健康相談コーナー〉〈健康情報コーナー〉を配置し、健康セルフチェックが行えるほか、管理栄養士や保健師などの資格を持った健康コンシェルジュが健康相談に応じます。自分の健康と向き合える場を提供し、区民の健康づくりを支援します。

さらに、名古屋大学と連携し、体組成計の測定結果や地域活動情報から、AIを用いて一人ひとりに合った区民ひろばのサークルやおでかけスポット、おすすめマンガを提供するAI実証「としまコミュニティ・コンパス」も本格実施します。

豊島区保健所のオープンにあたり、高際みゆき豊島区長は「豊島区保健所が区民の皆さまの健康づくりの拠点として、今まで以上に身近な場になるよう温かみのあるデザインにもこだわりました。新機能も追加し、多様な支援を展開していきますので、健康づくりのヒントとしてご活用ください」と話します。



2 階 総合窓口



3 階 生活衛生課窓口

